

かのわりゅういきげすいどう 狩野川流域下水道

～ 水が生き暮らしも活きる下水道 ～

(令和7年度)

下水道は次の役割を担う重要な都市施設です。

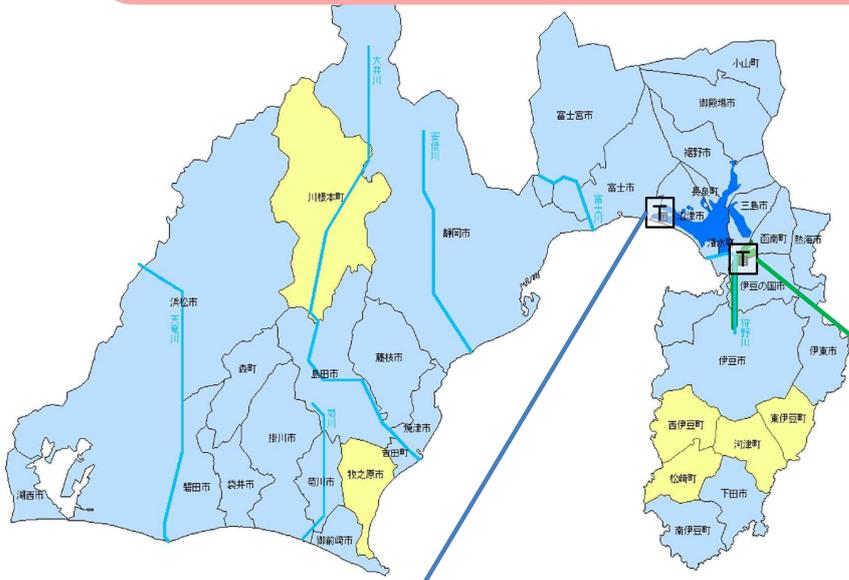
- 家庭や工場からの汚水を浄化してから放流することで、川や海などの自然環境を保全します(汚水処理)。
- 市街地に降った雨水を速やかに排除し、家屋の浸水を防ぎます(雨水排除)。

汚水を処理する下水道には、市町が単独で行う公共下水道と複数の市町にまたがり汚水を処理する流域下水道があります。

静岡県内では、29市町の公共下水道と1流域(2処理区)の流域下水道で効率的な汚水処理を実施しています。

静岡県の概要

面積 7,780km²
 人口(令和7年4月1日現在) 3,559,305人
 市町数(令和7年4月1日現在) 35(23市12町)
 ※ 出典 住民基本台帳(外国人含む)



- 下水道事業(汚水) 実施市町 29(22市7町)
- 下水道事業(汚水) 未実施市町 6(1市5町)
- T 流域下水道の処理場

※ T : Treatment plant



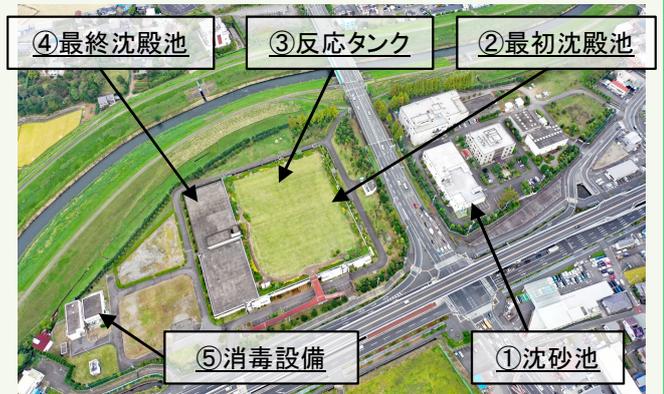
西部浄化センターの反応タンク
 酸素を取り入れ、微生物の働きにより汚水を処理しています。



処理後

処理前

狩野川流域下水道(東部処理区) 狩野川東部浄化センター

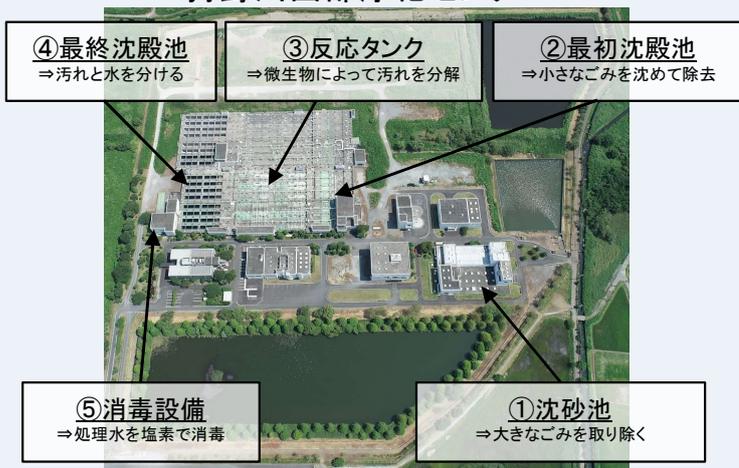


東部浄化センターの上部利用



下水処理施設の屋上は、多目的広場として地域の皆様に利用されています。

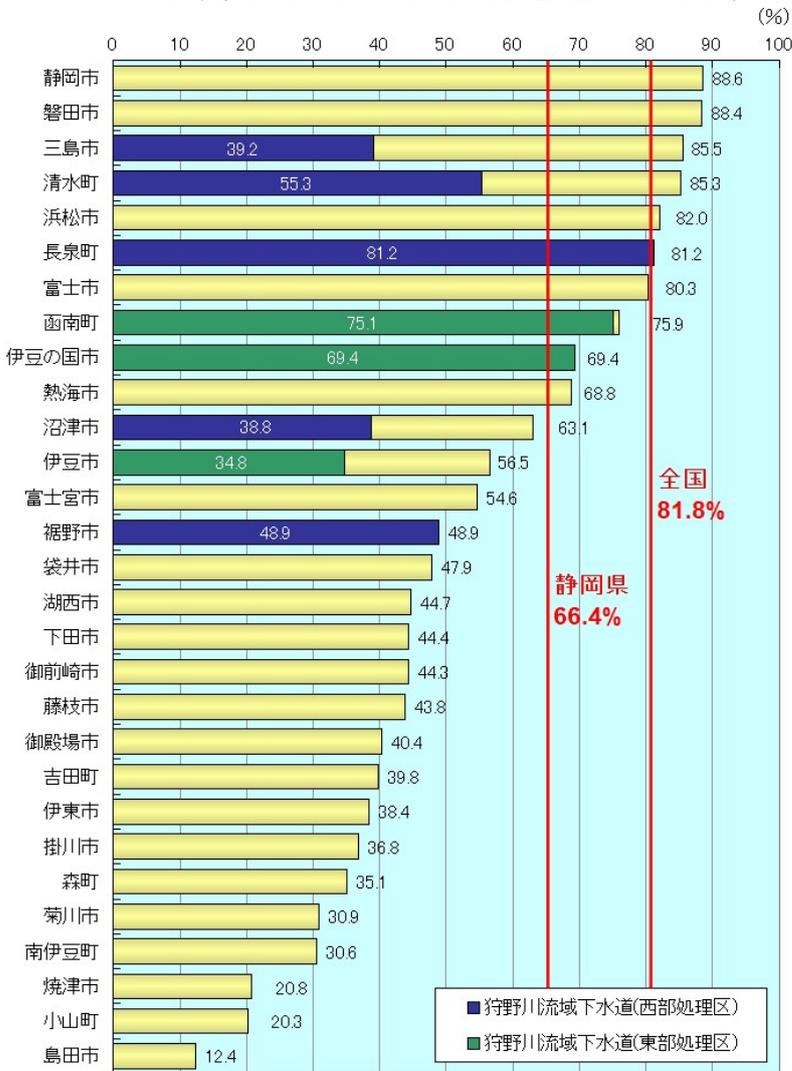
狩野川流域下水道(西部処理区) 狩野川西部浄化センター



○流域下水道の全体計画と整備状況

流域下水道名 処理区名	狩野川流域下水道 西部処理区	狩野川流域下水道 東部処理区
事業着手年度	昭和61年	昭和49年
供用開始年度	平成6年	昭和60年
関連市町	沼津市 三島市 裾野市 清水町 長泉町	伊豆市 伊豆の国市 函南町
計画処理能力	14.7万m ³ /日最大	6.0万m ³ /日最大
計画処理面積	6,406 ha	2,438 ha
計画処理人口	255,720 人	75,300 人
R6末	処理面積	3,047 ha
	処理人口	188,661 人

○令和6年度末市町別下水道処理人口普及率

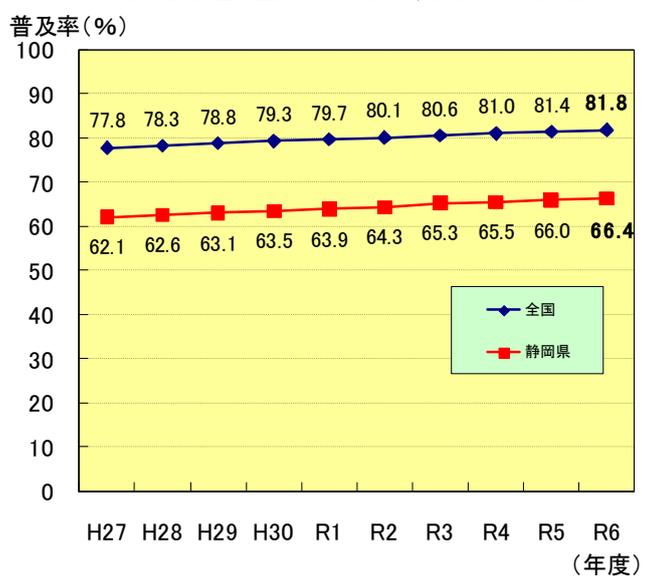


※白文字は、流域下水道による普及率

○安定した下水道サービスの提供

下水道法に定められた箇所に加え、全管路の点検を5年に一度実施しており、適切な維持管理により、安定した下水道サービスの提供に努めています。

○下水道処理人口普及率の推移



○下水汚泥の有効利用

汚水を処理する際に発生する下水汚泥を有効に利用しています。

令和6年度実績	静岡県	うち 流域下水道
有効利用量	170,782m ³ (99.8%)	19,193m ³ (100%)
埋立処分量	315m ³ (0.2%)	0m ³ (0%)
計	171,097m ³ (100%)	19,193m ³ (100%)

※脱水ケーキ換算

有効利用の用途

